

## <情報公開文面>

2019年3月から2019年11月までの間に近畿中央呼吸器センター入院中に転倒転落の経験をされた患者様へ

対象研究名：当院の入院患者における転倒・転落の詳細調査と予測因子の検討

### 研究目的・方法の概略

入院生活中に発生する転倒・転落は、加齢に伴う筋骨系変化や運動機能の低下、疾患、合併症の有無、投薬内容、栄養状態等、食事摂取量などが要因と考えられています。

当院では転倒・転落を防ぐために現在様々な対策を講じてはおりますが、残念ながら完全には防ぎきれないのが現状です。

転倒・転落は時に大けがにつながるだけでなく、実害がなくても患者様の恐怖心や不安感を生み、活動性の低下をもたらすことで身体機能の低下へとつながり要介護状態を招く原因の一つと指摘されています。

転倒・転落を予防することは今や社会的にも重要な課題となってきております。

このことから物理的な対策以外の新たな対策が必要であると考えました。

今回、治療を行う過程で必要に応じて実施した検査データや投薬や身体症状及び転倒した時の状況等を総合的に評価・検討を行い、転倒・転落が発生する可能性につながる予測因子を見つけるべく研究を行っております。

本研究は、今後入院される患者様が安全・安心して入院生活を送れるための対策の一助になるものと考えております。

本研究を実施するにあたり、当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けております。

### 研究期間

臨床研究審査委員会承認日より2020年3月31日までの予定です。

### 個人情報の取り扱いについて

個人を特定するようなお名前や年齢・住所等の使用はありません。研究成果を学会や論文で発表する際にも個人を特定できる情報の使用は一切ありません。電子カルテから抽出した情報については研究期間中インターネット非接続のPC内で保管し、研究終了後はデータ消去ソフトを用いて完全に情報の消去を行ない、プライバシーの保護に努めます。

### 本研究に関して、お問い合わせいただくための手段について

本研究に関して問い合わせが可能なように、本研究の内容、実施者、問い合わせ先について近畿中央呼吸器センターホームページ内に掲載いたします。

研究や個人情報に関する問い合わせや、研究への利用停止、研究計画書及び研究の方法に関する資料

を求められた場合には、研究対象者でいらっしゃることを確認させていただいたうえで、他の研究対象者の方の個人情報の保護等に支障がない範囲に限り、速やかに対応させていただきます。

研究機関名・責任者

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 薬剤部 桶本 幸

本研究課題の相談窓口

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 薬剤部 桶本 幸

(TEL) 072-252-3021